

平成 22 年 6 月 補正予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分
19	認可外保育施設運営事業			新規 <b>拡大</b> 継続
会計区分	款	項	目	所管
一般会計	3	4	3	子ども未来局 保育部 保育課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号	24	事業名	保育所・学童保育所「待機児童ゼロプロジェクト」を推進します。
総合振興計画新実施計画	事業コード	2210	事業名	認可外保育施設等整備・運営事業
根拠法令・条例・規則等	さいたま市ナーサリールーム事業実施要綱 さいたま市家庭保育室事業実施要綱			
予算要求事業の概要				
内容	国の基準である「認可外保育施設指導監督基準」を上回る基準を市が独自に定め、その基準を満たす施設をナーサリールーム・家庭保育室として認定・指定し、児童の保育を委託するとともに、運営費を助成するものです。			
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 待機児童の解消のため、認可保育所の整備を進めているが、認可保育所の整備に必要な用地の確保が難しくなっています。そこで、認可外保育施設のうち、市が独自に定めた基準を満たす施設を、ナーサリールーム・家庭保育室として認定・指定し、児童の保育を委託することにより、待機児童の解消を促進するものです。</p> <p>&lt;目標(平成26年度末)&gt; 1 ナーサリールーム・家庭保育室の定員1,500人増を図ります。</p>			
現状と課題	<p>&lt;現状(平成21年度末見込み)&gt; 1 ナーサリールーム・家庭保育室の定員数 2,488人</p> <p>&lt;課題&gt; 1 保育需要の高い駅前地域において、保育施設の新設整備に適した用地の確保が困難となってきました。 2 施設の新規認定にあたっては認可外保育施設としての実績を要するが、既存の認可保育所やナーサリールーム等と近接している提案が増加しており、バランスの取れた整備が必要となります。</p>			
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度 定員300人増</li> <li>平成23年度 定員300人増</li> <li>平成24年度 定員300人増</li> <li>平成25年度 定員300人増</li> <li>平成26年度 定員300人増</li> </ul>			

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	待機児童の解消のため、認可保育所の整備を進めているが、認可保育所の整備に必要な用地の確保が難しくなっています。そこで、認可外保育施設のうち、市が独自に定めた基準を満たす施設を、ナーサリールーム・家庭保育室として認定・指定し、児童の保育を委託することにより、待機児童の解消を促進するものです。
	実施義務	根拠法令等 さいたま市ナーサリールーム事業実施要綱 さいたま市家庭保育室事業実施要綱
	他市の実施状況	政令市： 県内他市：
効果	対象者	
	効果	待機児童の解消を促進するものです。

3 当初予算、補正予算要求、査定の内容

(単位：千円)

区 分	金 額		備 考
	当初予算	補正予算要求	
平成22年度	1,552,785	71,271	<p>&lt;積算内訳&gt; 1 ナーサリールーム委託料 1,514,535 2 認可外保育施設研修事業補助金 5,250</p>
	<p>&lt;財源内訳&gt; ① 国庫支出金 107 ② 県支出金 2,625 ③ 一般財源 1,550,053</p>	<p>&lt;財源内訳&gt; ① 一般財源 71,271</p>	
	0	0	<p>&lt;査定内容&gt; 1 ナーサリールーム委託料</p>
6月補正予算	0	0	<p>&lt;査定理由&gt; 現段階では待機児童数が確定していないこと、また、具体的な認定・指定がなされていないことから、補正予算としての必要性が低いと判断し、予算化を見送りました。</p>
	0	0	<p>&lt;査定内容&gt; 1 ナーサリールーム委託料</p>
	<p>&lt;財源内訳&gt; ① 一般財源 0</p>		
<p>&lt;査定理由&gt; 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。</p>			